



各地で開催！神明祭

1月から2月にかけて、市内各地で神明祭が行われました。



▲二窓地域

2月5日、大王公園では、神明

を燃やす前に神事が行われ、地域の人が神明に手を合わせました。神明が燃やされると、「すごい！」という歓声が沸き、子どもたちは目を輝かせていました。

皆実地域では、2月5日、祭りに合わせて防災訓練も行われました。消防団による防災に関する説明の後、実際に消火器を使って訓練を実施。バレンタインデーにちなんで、女性が神明に点火し、祭

りを盛り上げました。

2月12日には、二窓で神明祭が行われました。高さ約22m、重さ約5tの巨大な神明さんを、約60人で動かします。大変負担がかかるはずですが、「しんどいけど、これが楽しいんよ！」と笑いながら話す地域のみなさんの笑顔が、とても印象的でした。

地域それぞれの個性が輝く神明祭。今年も、地域のみなさんの願いが天高く昇っていきましました。



▲大王公園



▲皆実地域



華やかな文化芸術を体感

次代を担う子どもの文化芸術体験事業

in 竹原小学校&中通小学校



2月6日と7日、竹原小学校と中通小学校で、文化庁が行う「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」として、舞台公演が開催されました。

竹原小学校では、「蘭このみス ペイン舞踊団」が公演しました。

児童は、カホンという打楽器で公演に参加しました。1月から練習してきた成果が発揮され、息がぴったりの見事な共演となりました。カホンを演奏した、5年生の道前凜さんは、

「みんなで上手に演奏できて良かったです。きれいな衣装にかっこいい踊りで、感動しました。」

と、話してくれました。

中通小学校では、「財オペラーツ振興財団」がオペラ「カルメン」を公演。美しい歌声が聞かれるたび、観客からは「ブラボー！」という歓声が起こり、会場が一体となって演劇を盛り上げました。

6年生は、衣装を身にまとい、見事な演技を披露しました。4年生の御宿優美さんは、

「オペラに興味がわきました。6年生の演技も、とても上手でした。」と話してくれました。

一流の文化芸術と、児童の共演。児童一人ひとりの胸に、思い出となつて刻まれたのではないのでしょうか。

「ことばの輝き」受賞者発表

1月31日、広島市まちづくり市民交流プラザで、『ことばの輝き』優秀作品コンクール』の表彰式が開催され、吉名中学校3年の宮原舞優さんが最優秀賞、仁賀小学校3年の和泉空くんが優秀賞を受賞しました。宮原さんは、「嫌い」という作品で、昨年に引き続き2年連続の受賞となりました。



元気に疾走！竹原ロードレース大会

2月5日、バンブー公園で、竹原ロードレース大会が行われました。約600人が15の部門で力走。好天にも恵まれ、賑やかな1日となりました。参加者からは、「しんどかったけれど、楽しく走れました。」といった感想が聞かれました。



就活と雇用を応援！就職ガイダンス

2月22日、たけはら美術館文化創造ホールで、就職ガイダンスが開催され、就職希望者が30事業所から説明や面接を受けました。厳しい雇用情勢への対策として、平成21年から開催されているガイダンス。今年は71人が参加しました。



共に考える 「自殺」の苦しみと悲しみ

2月26日、市民館で、自殺対策公演が開催され、中学生や地域の人などが多数参加しました。県内の自殺者増加についての状況報告があった他、自殺を選択する人の苦しみ、遺された家族の悲しみを考える演劇が上演されました。



児童が市役所を訪問

2月1日、市役所で、竹原小学校6年生8人が、職場体験をしました。児童は、1階から3階までの庁内を見学。職員の説明に真剣に耳を傾け、積極的に質問をしていました。

2月9日には、竹原西小学校の6年生が議場を見学しました。実際の議場を体験をした児童は、少し緊張した様子で、議長になりきっていました。



吉名小学校で給食感謝の会

2月24日、吉名小学校で、給食感謝の会が行われました。日頃から食育活動でお世話になっている地域のみなさんを招待し、児童が「郷土の産物や生産者の苦勞を知り、感謝しながら、味わって給食を食べたい。」と感謝の気持ちを伝えました。

児童と共に野菜作りに取り組んでいる元矢和司さんは、「みなさんと栽培活動を通じて良い経験ができた。これからも農業の大切さを伝えていきたい。」と話しました。

会終了後には会食が行われ、「地場産物はおいしい」と、給食を楽しみました。